

## 第8回 町長定例記者会見

- 開催日時 平成28年2月29日（月）午前11時20分～
- 開催場所 遠軽町役場3階第3会議室
- 記者数 6人

さて、1月19日から21日にかけて大雪が発生いたしました。特に白滝地域におきましては、最深積雪が観測史上最高の128センチメートルとなりました。記録的な大雪で、この影響によって災害発生のおそれがあることから、20日午前11時に「遠軽町大雪災害対策本部」を設置し、避難所の開設準備、大雪への警戒、町道の除雪、一人暮らしの高齢者などへの安否確認を行ったところです。

幸い、人命に関わる大きな被害はありませんでしたが、国道の通行止めや公共交通機関の運休、小中学校の臨時休校など、住民生活に大きな影響があったところです。今後も気象情報などに注意を払い、対応してまいります。

2月20日には、遠軽青年会議所の主催によるイベントであります「雪提灯」が行われました。これは同会議所の認証60周年の記念事業として、さらには陸上自衛隊遠軽駐屯地の創立65周年を記念して、同駐屯地曹友会の協力により行われたものですが、皆様のご協力によりさまざまな催しが行われ、予想をはるかに超える1,500人以上の方々にお楽しみいただきました。遠軽で冬のイベントが開催されるのは久しぶりということで、このようなイベントを開催していただきました遠軽青年会議所と陸上自衛隊遠軽駐屯地曹友会の皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

また、昨日はこの地域の冬の一大イベントである「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」が行われ、1,200人の参加者が、北の大地を駆け抜けました。

大会運営にあたりましては、早朝からご支援いただきました関係者や町民ボランティアの皆様をはじめ、ご協力いただきました地権者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

それでは、3月定例議会からの議題についてご説明申し上げます。

### ■3月定例議会議案から

3月8日から、遠軽町議会定例会が開会されます。

#### ・新町まちづくり計画の変更について

東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る、地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行により、合併特例債を起すことができる期間が延長されたことに伴い、新町まちづくり計画を変更したく、議会の議決を求めるものであります。

#### ・遠軽町過疎地域自立促進市町村計画を定めることについて

これまでの計画期間が、本年度で終了となることから、平成28年度から32年度までの計画を定めることについて、議会の議決を求めるものであります。

#### ・遠軽町公営バスに関する条例の一部改正について

本年3月、JR北海道のダイヤ改正による普通列車減便の対応として、現行の遠軽丸瀬布線を増便するため、本条例を定めるものであります。

#### ・補正予算について

国の補正予算関連事業として、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応ということで、地方創生加速化交付金の創設に伴う交付金事業として、白滝ジオパーク推進協議会への補助金や看板の設置、体験プログラム実施のための、バスの購入など、ジオパークの推進に向けた経費、海外で放映する観光PR番組の制作など、観光振興の経費、女性農業者団体を支援するための経費などを計上しているほか、マイナンバー制度の施行により、自治体情報のセキュリティー対策の強化に伴うシステム購入経費、年金生活者等支援臨時福祉金給付支給事業などの経費を計上しており

ます。

また、国の補助金の追加による、ふくろ団地公営住宅建設工事及びふくろ団地公営住宅集会所建設工事、遠軽中学校大規模改修工事等に要する経費などを計上したところであります。

#### ■産婦人科医師確保対策について

遠軽厚生病院産婦人科医師確保対策についてです。これについては、これまでもさまざまな要請活動を行っているところでありますが、このたび「遠軽地区総合開発期成会」の専門会議として組織されました「遠軽地区地域医療対策連携会議」を構成する私と、湧別町長、佐呂間町長の3町長で、1月18日に東京都内の病院に対して医師派遣の要請を行いました。同病院は、昨年夏にも要請を行っておりますが、さらに当地域の窮状を説明するとともに、強く協力要請を行ったところであります。

この「遠軽地区地域医療対策連携会議」の取り組みといたしましては、医師募集のポスターを作成し関西方面の電車へ掲示するとともに、「東京遠軽会」の会員の皆様にもお送りして協力要請を行い、現在さまざまな方から励ましやご協力のご連絡をいただいているところであります。

さらに、今後は、全国の産婦人科を標榜する病院に対しまして、医師招へのダイレクトメールを送付するなど、医師確保の活動を行っているところであります。

2月10日には、期成会といたしまして、小野寺五典衆議院議員、武部新衆議院議員と懇談を行い、産婦人科の医師確保をはじめとする、3町の懸案事項について要望したところであります。

加えまして、2月12日には関東地方の医科大学を訪問し、当地方の医療現場の状況と医師派遣協力を要請するとともに、全国の医療現場の状況等についてもご教授を賜りましたが、全国でも当地方と同様に、医師の偏在等が大きな問題として取り上げられているとのことであります。

このたび、本町の取り組みと産婦人科医師不在地域の問題点がNHKのテレビ報道番組にも取り上げられたところであり、これまでも増して医師確保に取り組んでまいりたいと考えているところであります。

#### ■「遠軽町旭川医科大学医師養成確保修学資金貸付事業」及び「医師または看護師に係る奨学資金の償還に関する特例」について

地域医療を担う医師の養成及び確保を図り、町民への安定的な医療提供体制を確立することを目的として、平成27年第4回遠軽町議会において議決されましたこの制度ですが、平成28年4月1日から制度が開始されます。

修学資金の貸付けにつきましては、平成28年1月13日付で「旭川医科大学」及び「遠軽厚生病院」並びに「遠軽町」の間で協定書の締結を行いました。その後、旭川医科大学でも医学生向けに周知が行われ、すでに在学生から数件の照会があったところであります。本町といたしましても、多くの医学生にご利用いただけるよう、町広報紙及びホームページに掲載するとともに、地元の遠軽高等学校にも周知と協力依頼を行っているところであります。

また、奨学資金につきましても問い合わせが来ており、これらの制度を利用することにより、医師をはじめとする多くの皆様に、地域医療に貢献していただくことを期待しているところであります。

#### ■市町村連携地域モデル事業「YESプロジェクトについて」

北海道における、市町村連携モデル事業を生かした取り組みとして、湧別町・遠軽町・佐呂間町の地元食材を活用した特産品開発に取り組むこのプロジェクトであります。このたび、北海道じゃらんの会員向けアンケートを実施し、3町の特産品の認知度やイメージなどの調査を行います。この結果を受けまして、3月下旬に関係機関が集まり、勉強会を実施する予定であります。

お客様に喜んでいただき、さらにこの遠軽地区の知名度が上がるような、魅力ある商品の開発に向け、取り組んでまいります。

### ■遠軽町特産品開発支援事業及びセミナーの開催について

前回の記者会見でも申し上げましたが、4月1日から特産品開発に対する支援制度が始まります。

これを受けまして、3月24日に、この制度の説明と、地域資源等を活かした先進地の取り組みとして、静岡県伊豆半島ジオパークで活動する「ジオガシ旅行団」のお2人をお招きし、事例を発表していただきます。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、この制度を活用して魅力ある商品が開発されることを期待しているところであります。

ジオガシ旅行団というのは、ジオガシは片仮名ですけれども、ガシはおそらくお菓子のことで、そういうものをいろいろ作っております。

### ■町民憲章及び町花・町木等の案について

遠軽町が合併して10周年を迎えたことを機に、遠軽町の町民憲章及び町花・町木等につきまして、制定の必要性を含めた協議を行うため、検討委員会を設置し、昨年8月から協議・検討を重ねていただきました。

このたび、検討委員会から、町民憲章及び町花・町木等の制定が必要であるとしてまとめた素案について、2月8日に具申を受けました。

この具申結果をもとに、町民憲章及び町花・町木等の案を策定し、町民の皆様にお知らせするとともに、明日3月1日から31日まで意見を募集します。どちらも、町民の皆様にご親しまれるものとなるよう願っております。

### ■危機対策室の設置について

町では、防災対策等の機能強化のため、組織の見直しを行い、4月1日から危機対策室を設置します。

主な業務としましては、国民保護法や地域防災計画、危機対策の総合調整、自衛隊等関係団体との連絡調整に関することなどとなります。

この対策室を設置することで、自衛隊などの関係機関との連携を密にし、さらに災害に強いまちづくりを進めてまいります。